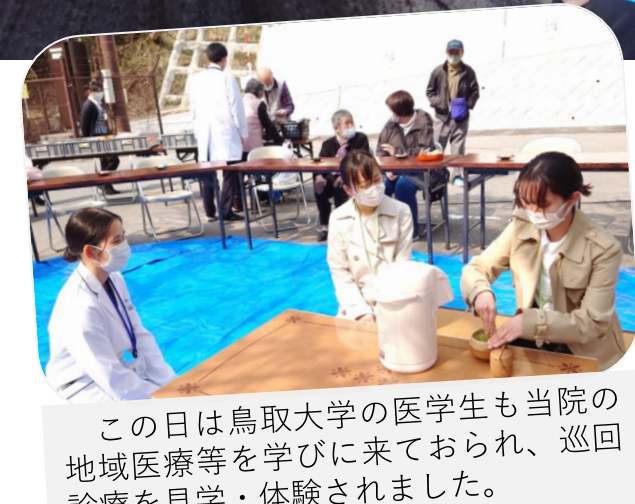


お花見 と お茶会

～ in 上萩山（巡回診療）～



4月16日（水）の巡回診療では『つるぎ会館の前庭の桜を見ながらお茶会をしよう！』と、リハビリテーション科の角作業療法士が企画し、桜とお茶の効果で会話も弾み、診療だけでなく賑やかなひと時を皆さんと過ごしました。



この日は鳥取大学の医学生も当院の地域医療等を学びに来ておられ、巡回診療を見学・体験されました。



茶杓（ちゃしゃく）

棗（なつめ）



住民さん手作りの棗（なつめ）と茶杓（ちゃしゃく）という茶道具も登場しました。

【目次】

- ・小児科外来、山口由起子医師の紹介・・・2頁
- ・シリーズ「日南病院の現状は？」・・・3頁
- ・リフィル処方箋ってなあに？・・・裏表紙

リフィル処方箋を

知っていますか？

リフィル処方箋とは、症状が安定している患者さんに対して、一定期間内に最大3回まで反復利用できる処方箋です。



利 点

- ・その都度診察を受けなくても繰り返し薬を受け取ることができます。

注 意 点

- ・同じ処方箋を複数回使うので、紛失しないよう大切に保管する必要があります。
- ・保険診療（鳥取県）として最長計90日分（例 30日処方×3回）の処方となります。
- ・2回目以降の薬の受け取り期間は、受け取り予定日の前後7日間です。
- ・向精神薬、新薬、湿布薬などの投与量に制限がある薬剤は対象外です。



リフィル処方箋と長期処方の違い

処方箋には、長期間分の薬を処方する「長期処方」もあります。リフィル処方箋と長期処方、どちらも基本的には症状の安定している患者さんが対象となりますが、その違いは次のとおりです。

	リフィル処方箋	長期処方
処方の仕方	最大3回まで繰り返し使用可能な処方箋を処方する。	一度に長期間分の薬を処方する。
受診頻度	期間中、医師の診察は1回だけ。薬局へは毎回（最大3回）行く必要がある。（同じ薬局を推奨）	期間中、医師の診察も薬局に行くのも1回だけ。
特 徴	一度の診察で長期間分の薬を複数回に分けて受け取ることができる。医療機関の受診間隔は空くが、薬局へは毎回行くため、健康状態の管理が期待できる。最後の薬を受け取るまで、 <u>自身の処方箋の保管が必要</u> 。	一度の診察で長期間分の薬を受け取ることができる。通常の処方箋よりも医療機関への受診、薬局への訪問頻度が少なくなるので、体調悪化の予兆に気づきにくくなる可能性がある点に注意が必要。

引用：政府広報オンライン「リフィル処方箋」を知っていますか？！1度の診察で最大3回まで薬の処方を受けられます！を加工して作成（<https://www.gov-online.go.jp/article/202411/entry-6756.html>）

◆日南病院でもリフィル処方箋を発行することはできますが、以前より長期処方（最長91日分）を行っているのでこちらの方を選択する場合があります。いずれにしても、医師の判断が必要です。

採用試験日程・募集職種

【募集職種】

- ・看護師
- ・臨床検査技師
- ・診療放射線技師
- ・介護福祉士

【採用試験日】

第2回：6月 7日（土）
第3回：7月 5日（土）

※随時募集している職種もございますので、詳しくは病院ホームページをご覧ください。→ → →



巡回診療 6月18日(水)受付時間:14時～15時30分 つるぎ会館(上萩山) 診察のない方もぜひお越しください

- ・診療の予約変更等のご連絡は、**14時～17時の間**にお願いします。
- ・小児科の診療がない曜日（平日時間内）でも、**内科3診にて受診が可能です**。まずはお電話でご相談ください。



〒689-5211
鳥取県日野郡日南町生山511-7

TEL：0859-82-1235

FAX：0859-82-1341

HP：<https://nichinan-hospital.jp/>



病院に対するご意見
ご要望、広報誌に対す
るご意見など、お待ち
しています。

入力フォーム



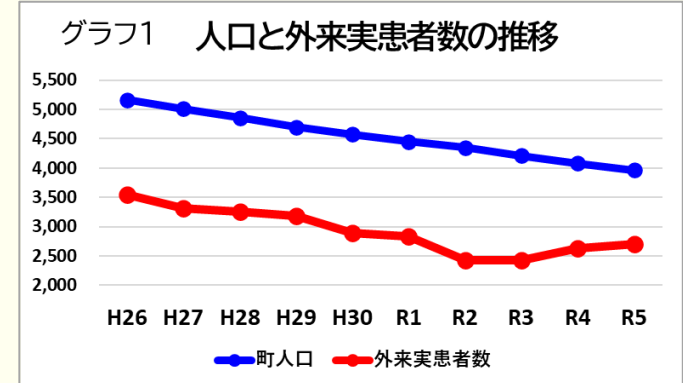
現在、日南病院は町内唯一の医療機関として、地域の皆さんの「最後の砦」となれるよう、日々、地域医療に真剣に取り組んでいます。

一方で、全国多くの地域と同様に、少子高齢化が進み、人口は年々減少しています。また医療を支える診療報酬は物価の上昇に追いついておらず、加えて「働き方改革」の影響で人件費は上昇しています。こうした厳しい環境の中で、日南病院もかつてのように健全経営を続けることが困難な状況になつてきています。

そこで、今月からシリーズ企画として今の日南病院の状況を町民の皆さんと率直に共有し、共に考える場をつくっていきたくと考えました。そのうえで将来にわたり適正な医療サービスをお届けしつつ、持続可能な運営、経営を続けていくために必要なことを町民の皆さんと一緒に考え、歩んでいければ幸いです。

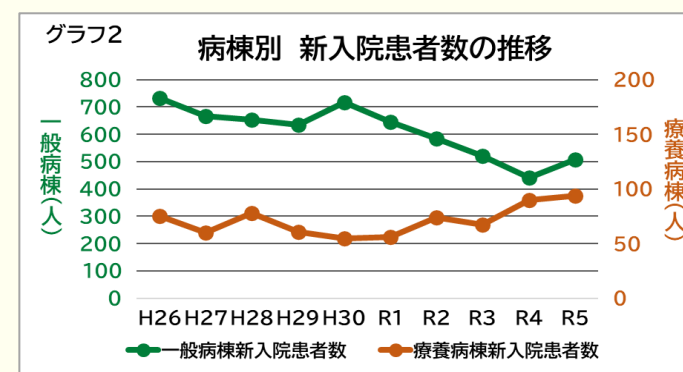


生山市街と日南病院(山手奥)



「外来の現状について」
左のグラフ1は平成26年度以降の町の人口推移(青色)※注1と当院の外来受診実患者数(赤色)※注2を表したものです。このデータからわかるのは、過去9年間で、町の人口が減少するのとはほぼ同じペースで、実受診者数も減つてい

「入院の現状について」
下のグラフ2は、平成26年度からの令和5年度までの「新入院患者数」※注4の推移を示しています。緑色のグラフは一般病棟、赤色のグラフは療養病棟の入院患者数を表しています。療養病棟は比較的に長期的な療養が必要となる患者の入院患者数です。



注1 住民基本台帳人口
注2 外来受診人口
注3 1人1回診療(1人1回診療)の患者数
注4 入院患者数(入院患者数)

【まとめ】
このように、日南病院の患者数は、町の人口減少の影響を大きく受けています。また、少子高齢化が進むにつれて、町民の健康意識が高まり、医療機関への依存度が上がっています。こうしたなかで、地域に合った医療の提供が求められています。町民の皆さんと一緒に、町民の健康をどう維持していくかを考えていきたいと思います。

◆ 日南病院を主に担当してくださる山口医師の紹介 ◆

やまぐち ゆきこ
山口 由起子 医師
鳥取大学医学部附属病院 小児科
専門領域：内分泌

診療日：月・木曜日(週2回)
診療時間：9時30分～16時00分



※火・水・金曜日は他の小児科医師が日野病院に勤務されます。
※日南病院、日野病院共に別の医師に変更となる場合もありますのでご了承ください。

山口先生へ質問です！

- ◆日野郡3町の小児科かかりつけ医となられ、どんな診療を思い描いておられますか？
・地域の皆様に安心して受診してもらえる様なホームドクターを目指していきたくと思います。
- ◆内分泌がご専門と伺いました。どんな病気が対象になるのですか？
・低身長や肥満、思春期早発症(思春期が通常より2年程早く来てしまう)甲状腺疾患、糖尿病などを診ることが多いです。お子さんの成長で気になることがあれば、お気軽にご相談ください！
- ◆日南町の皆さんに一言お願いします！
・小児科かかりつけ医として一般的な風邪の診療、ワクチン接種などを行って参ります。
・心配事など、お気軽なくご相談ください！

病児・病後児保育

令和7年5月20日(火)より開始！

利用日・利用時間
・平日(月～金)の8時15分から17時00分まで

利用定員：1日2名まで
(病気の種類等によっては、受け入れができない場合もあります)

対象児童年齢：1歳～12歳(小学校6年生)まで

利用対象児童：日南町にお住まいの方または町外にお住まいで日南町内に勤務されている方のお子さん

利用料金：
①町内に住所がある方 1,000円/日
②町内に勤務先がある方 2,500円/日

※利用可能の判断は当日診察した医師が行います。

昼食について(無料)
・病院で昼食を提供します。(アレルギー食対応不可)

利用予約の方法や持ち物など詳しくは日南病院ホームページをご覧ください！